

2016年10月12日

レティシアスペイン王妃 SAVE FOOD 会議 2016 にご臨席

- スペイン農水栄養環境大臣、フランス農務・農産食品・林業省をはじめ、政界からも多数参加
- 産業界、業界団体および NGO から、およそ 300 名が食品ロスと廃棄について議論

第 2 回 SAVE FOOD 会議は、スペインのレティシア王妃を迎え、9 月 26 日にアテネオ・デ・マドリッドで開催された。同会議の主催は、SAVE FOOD 戦略、スペイン輸出業者・投資家クラブ、そしてスペイン・コマーシャル・コード協会 AECOC / GS1。スペイン国王は、国連食糧農業機関 (FAO) の特使としての役割を担われる。政治、ビジネス、小売業界および NGO を代表する、影響力の強いスピーカーたちは、1 日の会議で、食品ロスと廃棄を取り巻く多様な側面に光を当てた。

大成功を収めた第 1 回目 SAVE FOOD 会議は、スイスのヴヴェイにあるネスレ社において、昨年開催された。第 2 回目となる本会議は、再び関係各方面から大絶賛を浴びた。『SAVE FOOD 会議 2016 は大成功だった。スペインのレティシア王妃にご臨席たまわったことは、私たちにとって非常に名誉なことであり、食品ロスと廃棄というテーマの重要性も明らかとなった。』と、メッセ・デュッセルドルフ代表取締役社長 W. M. ドーンシャイトは会議を振り返った。

interpack の開催がない 2016 年においても、SAVE FOOD 会議は出会いの場としての役割を果たした。FAO の SAVE FOOD ネットワークには、現在までに、140 を超える産業界のパートナー、数百の NGO ならびに研究機関が登録している。

会議は、スペイン農水栄養環境省の I. G. テヘリーナ大臣、スペイン輸出業者・投資家クラブ B. ピエトロ代表、メッセ・デュッセルドルフ代表取締役社長 W. M. ドーンシャイト、ならびに FAO でパートナーシップ・擁護・能力開発担当局長を務める M. ヴィラリアル氏による公式の歓迎で始まった。

SAVE FOOD Initiative

Messe Düsseldorf GmbH
P.O. Box 10 10 06
40001 Düsseldorf
Germany
Tel. +49(0)211/45 60-01
Fax +49(0)211/45 60-668

www.save-food.org

An initiative of Messe Düsseldorf
in cooperation with the Food
and Agriculture Organization
of the United Nations (FAO).



続く講演では、社会貢献企業エスピゴラードロスプロジェクトマネージャーである M. バルバ氏と、ペプシコのブルゴス工場長 J. ゴンザレス氏が、自社でどのように食品廃棄を回避しているか、それぞれ説明した。また、ムルチバック社 C. トラウマン CEO は、食品廃棄と戦うにあたっての包装の役割について分析した。そして小売業界を代表して、カルフル・スペインの人事・対外関係担当部長 A. M. サンチェス氏と、エロスキーの CSR 担当部長である A. M. ベリオコア氏も、それぞれのアプローチについて語った。

フランス農務・農産食品・林業省の V. ギー食糧政策総局次長は、自身の政治的立場を説明、最近フランスで法案化された法律の効果を分析した。それは、スーパーマーケットに売れ残ったあらゆる食料品をフード・バンクに渡す、という契約を締結することを義務付けるものだ。

SAVE FOOD 会議の中心は、消費者が食品の廃棄について十分な情報を得ているかどうか、という質問に対するパネルディスカッションであった。パネリストは、スペイン農水栄養環境省食品産業総局長、F. ブルガス氏、カタロニア廃棄協会ディレクター、P. シヴァ氏、スペイン消費者協同組合連合会代表 C. レドンド氏、カタロニア消費分野制度担当 N. リバ氏、そしてマドリッド・フード・バンク F. G. ゴンザレス総裁。彼らは、食料品についての一般的な認識であり、消費する責任である、『賞味期限』と『消費期限』の違いについて議論した。レティシア王妃は、その後の質疑応答セッションに参加された。

会議の昼食休憩には、『残り物カクテルランチ』がふるまわれ、午後のプログラムへの英気を養うこととなった。この昼食は小売協会 Grupo IFA が準備した。

SAVE FOOD 会議 2016 の一部を構成していたのは、SAVE FOOD 展(展示エリア)だ。国際社会で食品ロスと廃棄が起きていることの重大さについて、詳細な説明がなされ、SAVE FOOD 戦略のさまざまなプロジェクトの概要や、それぞれの参加企業・団体がどのような取り組みをしているのか、についても焦点が当てられた。

第 3 回 SAVE FOOD 会議は、interpack 2017 の会期初日にあたる 5 月 4 日(木)に、デュッセルドルフ見本市会場で開催される。

SAVE FOOD とは

SAVE FOOD 戦略は、国際的な食品ロスと廃棄に対処するため、国連食糧農業機関(FAO)、国連環境計画(UNEP)、メッセ・デュッセルドルフが協力し発足、ビジネス、政治、研究を結ぶネットワークを構築、対話を刺激し、食品のバリューチェーンに沿ったソリューションを導き出すことを目指している。加えて、産業界の支援を受けて独自のプロジェクトを立ち上げ、推進していく。SAVE FOOD は、2011 年 5 月に、世界最高峰の加工・包装産業メッセ - interpack の併催プログラムとして、国際会議および展示エリアを設けたことにはじまる。詳細は www.save-food.org にて。

スペイン輸出業者・投資家クラブとは

部門横断的な非営利団体で、スペイン企業にとって、グローバル化に関するコンタクトポイントとして権威になっている。その主な目的は、国際市場におけるスペイン企業のグローバル化と競争力の促進、そして国際

活動への利益代表である。

AECOC/GS1 Spain とは

AECOC(GS1 スペイン)は、消費者利益のために相互協力する産業部門の、生産や流通分野などの企業 26,000 社以上が加盟する協会。創立以来 30 年以上にわたり、スペイン企業をより持続可能で近代的、かつ競争力のあるものにするため、相互協力、革新、技術開発、効率性、そしてあらゆる実践的行動を推進してきている。

SAVE FOOD の様子をおさめた写真などは、下記 URL にてご覧いただけます：

<http://medianet.messe-duesseldorf.de/press/interpack>

『interpack / SAVE FOOD』に関する情報・お問い合わせは、[（株）メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](http://www.messe-duesseldorf.de/japan)、あるいは日本語ホームページ <http://interpack.messe-dus.co.jp/> をご覧下さい。

Messe Düsseldorf GmbH

interpack Press Office

Sebastian Pflügge / Mr.

Apostolos Hatzigiannidis / Mr.

Tel.: +49-(0)211-4560-464/-544

Fax: +49-(0)211-4560-8548

Email: HatzigiannidisA@messe-duesseldorf.de

（株）メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：橋木 雅弘

Tel.: 03-5210-9951

Fax: 03-5210-9959

Email: mdj@messe-dus.co.jp